

2021年11月9日
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

各位

スチュワードシップ・レポート 2021/2022 の発行について

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(取締役社長:菱田 賀夫、以下「弊社」)は本日、「[スチュワードシップ・レポート 2021/2022](#)」(以下、本レポート)をウェブサイトにて開示しましたので、お知らせいたします。

弊社は、日本版スチュワードシップ・コードを踏まえ、エンゲージメントや議決権行使などのスチュワードシップ活動を積極的に推進することを通じて、投資先企業に企業価値向上や持続的成長を促し、運用財産の中長期的な投資リターン拡大を図ると同時に、社会課題解決に取り組んでいます。

本レポートは、弊社のスチュワードシップ活動に対する考え方をご紹介し、年間の活動実績を包括的にご報告するとともに、活動方針をご案内するものです。

2017年に他に先駆けて初版を発行して以来、毎年改訂を重ねておりますが、今回は、下記の諸点を強化ポイントとして改訂いたしました。本レポートを通して、お客様をはじめ幅広い方々に、弊社のスチュワードシップ活動に対するご理解を深めて頂ければ幸いです。

- 特集記事として、①今後、注目度の高まりが予想されるテーマである「自然資本(TNFD)」、②その自然資本を含む様々な側面で課題をもつ「パーム油」、③弊社の注力テーマの一つである気候変動問題に関する「Net Zero Asset Managers initiative」、そして④同じく注力テーマである「ダイバーシティ」については対談形式でご紹介(P9~20)。
- トップダウン型エンゲージメント活動について詳しくご紹介(P29~32)。
- 拠点設立から1年経った米国 NY 拠点(Sumitomo Mitsui Trust Asset Management Americas)の活動状況についてのご報告(P41~42)。
- 国内株式、外国株式におけるインパクト投資戦略のご紹介(P49~52)

弊社は、スチュワードシップに係る活動をフィデューシャリー・デューティの要と位置付け、「責任ある投資家」としての役割を適切に果たしてまいります。

弊社の「スチュワードシップ・レポート 2021/2022」は、下記の公式ウェブサイトからもご覧いただけます。

URL: [「スチュワードシップ・レポート 2021/2022」](#)

以上